



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2013年度は、これまで取り組んできた事業構造改革に目途がついたことを踏まえ、「攻めの経営元年」と位置付け、将来の事業拡大に向けた取り組みを強化しています。

当第1四半期は、売上高の増加に加え、利益体質強化の取り組みの成果により、第1四半期として初めて営業損益が黒字となりました。これを受け、上半期の業績予想を上方修正しました。

また、2013年度を初年度とする「2015年度 中期経営計画」を策定し、発表しました。「収益力の強化」と「成長基盤の確立」を柱とし、2015年度に売上高8,500億円、営業利益450億円(営業利益率5.3%)を目指します。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2013年8月

富士電機株式会社
代表取締役社長

北澤通宏

第1四半期決算

営業損益、純損益の黒字化を達成しました。

売上高

>>> 前年同期に比べ **50億円増の1,517億円**

当社を取り巻く市場環境は、国内では、食品流通分野が好調を持続し、再生可能エネルギー・省エネ関連分野も堅調に推移しましたが、民間設備投資の本格的な回復には至りませんでした。海外は、パワエレ機器、パワー半導体の需要は伸長しましたが、中国の成長鈍化等を背景として、海外市場全体では弱い回復となりました。

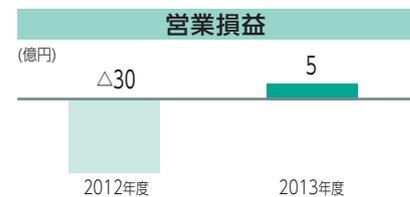
こうした環境のもと、売上高は、産業インフラが大口案件の減少により前年同期を下回ったものの、全体では前年同期を上回りました。



営業損益

>>> 前年同期に比べ **34億円改善の5億円**

営業損益は、売上高の増加に加え、全社を挙げたコストダウン、経費圧縮等の体質改善効果により、前年同期を上回りました。なお、パワエレ機器、電子デバイスは、前期に実施した事業構造改革の効果により、黒字化しました。



純損益

>>> 前年同期に比べ **34億円改善の1億円**



上半期業績予想

営業損益、純損益を上方修正しました。

第1四半期決算を踏まえ、営業損益、純損益を上方修正しました。

なお、通期業績は、中国経済の動向など一部に不透明感があるため、当初予想を据え置いています。

	上半期				通期	
	2012年度 (実績)	2013年度 (4/25予想)	2013年度 (7/25予想)	増減 (7/25予想- 4/25予想)	2012年度 (実績)	2013年度 (予想)
売上高	3,338	3,200	3,200	0	7,458	7,500
営業損益	Δ54	5	20	+15	220	270
純損益	Δ76	Δ40	0	+40	264	140

※前提為替レート 1ドル=90円、1ユーロ=115円

2015年度 中期経営計画 収益力の強化と成長基盤の確立

富士電機では、これまで器具、ディスク媒体、自販機、ドライブ、パワー半導体、太陽電池の構造改革に取り組み、利益体質の構築に努め、着実に営業利益率を向上させてまいりました。

このたび、2013年度を初年度とする「2015年度 中期経営計画」を策定しました。「収益力の強化」と「成長基盤の確立」を柱に、売上高8,500億円、営業利益450億円（営業利益率5.3%）を目指して、経営方針に掲げる「エネルギー関連事業の拡大」と「グローバル化」をさらに推し進めていきます。

経営方針

- 1 エネルギー技術の革新により、安全・安心で持続可能な社会の実現に貢献します。
- 2 グローバルで事業を拡大し、成長する企業を目指します。
- 3 多様な人材の意欲を尊重しチームで総合力を発揮します。

中期経営計画

	2012年度 実績	2015年度 中期経営計画	増減
売上高	7,458億円	8,500億円	+1,042億円
営業利益	220億円	450億円	+230億円
営業利益率	2.9%	5.3%	+2.4pt

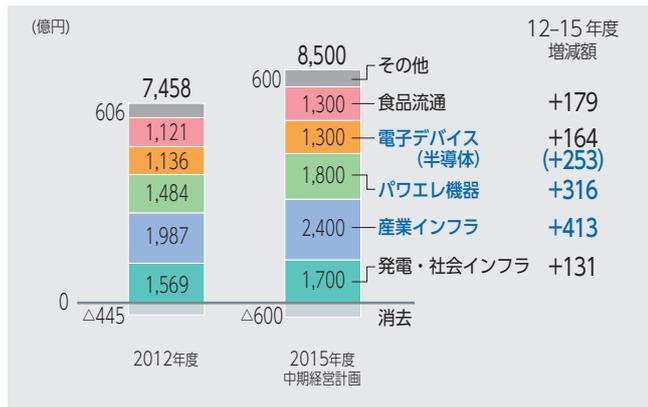
[財務指標]	2012年度 実績	2013年度 経営計画*	2015年度 中期経営計画
ネットD/Eレシオ	1.0倍	1.0倍	0.7倍
自己資本比率	25%	21%	25%
ROA	3%	2%	3%
ROE	15%	8%	14%

*退職給付会計基準改正影響を反映

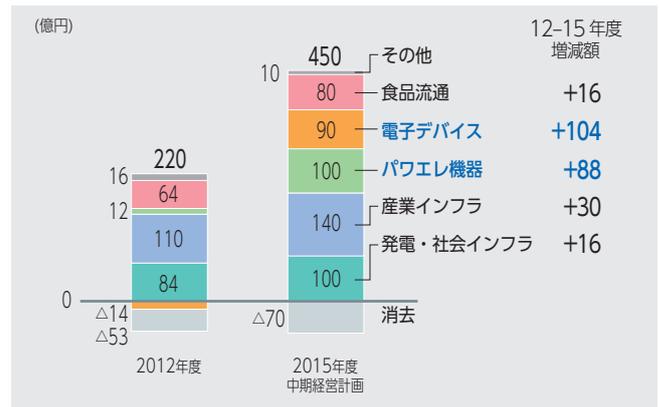
基本方針

- 収益力の強化
 - ・ 直材コストダウンの強化
 - ・ 徹底した経費の削減
- 成長基盤の確立
 - ・ 国内・アジアでの事業拡大
 - ・ 産業インフラ・パワーエレクトロニクス機器、パワー半導体の事業拡大

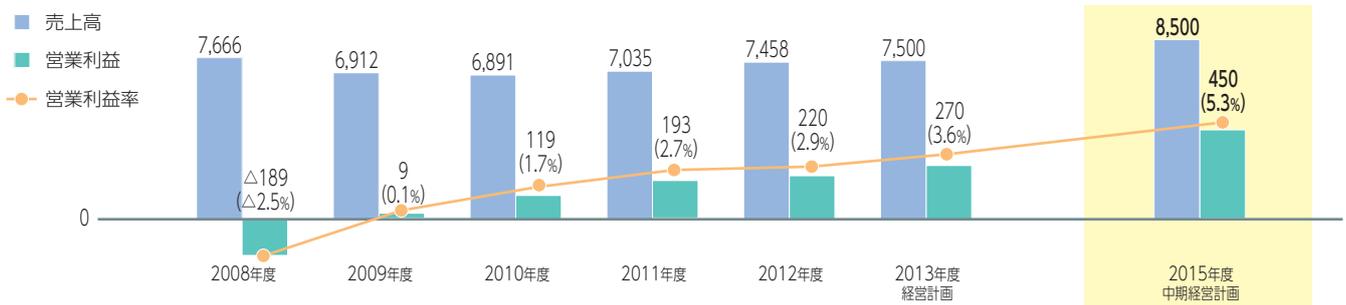
売上高



営業利益



業績推移



▶ 富士電機の取り組み

国内の市況は、戦略市場創造プラン等の政府成長戦略および社会・産業インフラの老朽化を背景に、エネルギー投資、老朽設備の更新投資、省エネ化に向けた投資が拡大するものと見込まれます。

海外の市況は、当社が重点地域と位置付けるアジアにて、インフラ投資、エネルギー需要増加に伴う電力投資および日系企業の進出加速に伴う設備投資が拡大するものと期待されます。一方、中国では、都市化・環境投資が加速するものの、景気減速等による成長鈍化のリスクが想定されます。

こうした市場環境のもと、中期経営計画では、国内およびアジアにおいて事業拡大を図ります。セグメント別には、国内外ともに需要の伸長が期待できる産業インフラ・パワーエレクトロニクス機器・パワー半導体を中心として、事業の拡大に取り組みます。

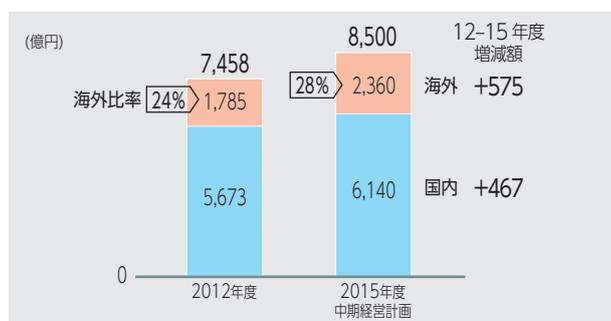
日本 “日本再興”への貢献を通じ、事業を拡大

発電・社会インフラでは、高効率火力発電設備、スマートメータの受注拡大に取り組みます。産業インフラでは、工場向け更新ビジネスの取り組みを強化します。パワーエレクトロニクス機器では、生産設備の省エネに貢献する新製品を積極投入します。パワー半導体では、ハイブリッド車向け製品の拡販を図ります。食品流通では、新事業(要冷物流等)の開拓・拡大に取り組みます。

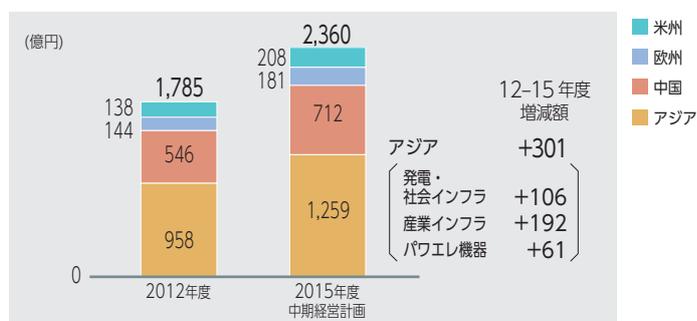
海外 アジアで事業拡大

発電・社会インフラでは、火力・地熱発電設備の受注・売上拡大を図ります。産業インフラでは、海外生産拡大による価格競争力強化、M&Aを含む販売・サービス網の強化を通じて、工場・工業団地向けビジネスを拡大します。パワーエレクトロニクス機器では、グローバル新製品の開発・投入により、売上拡大に取り組みます。

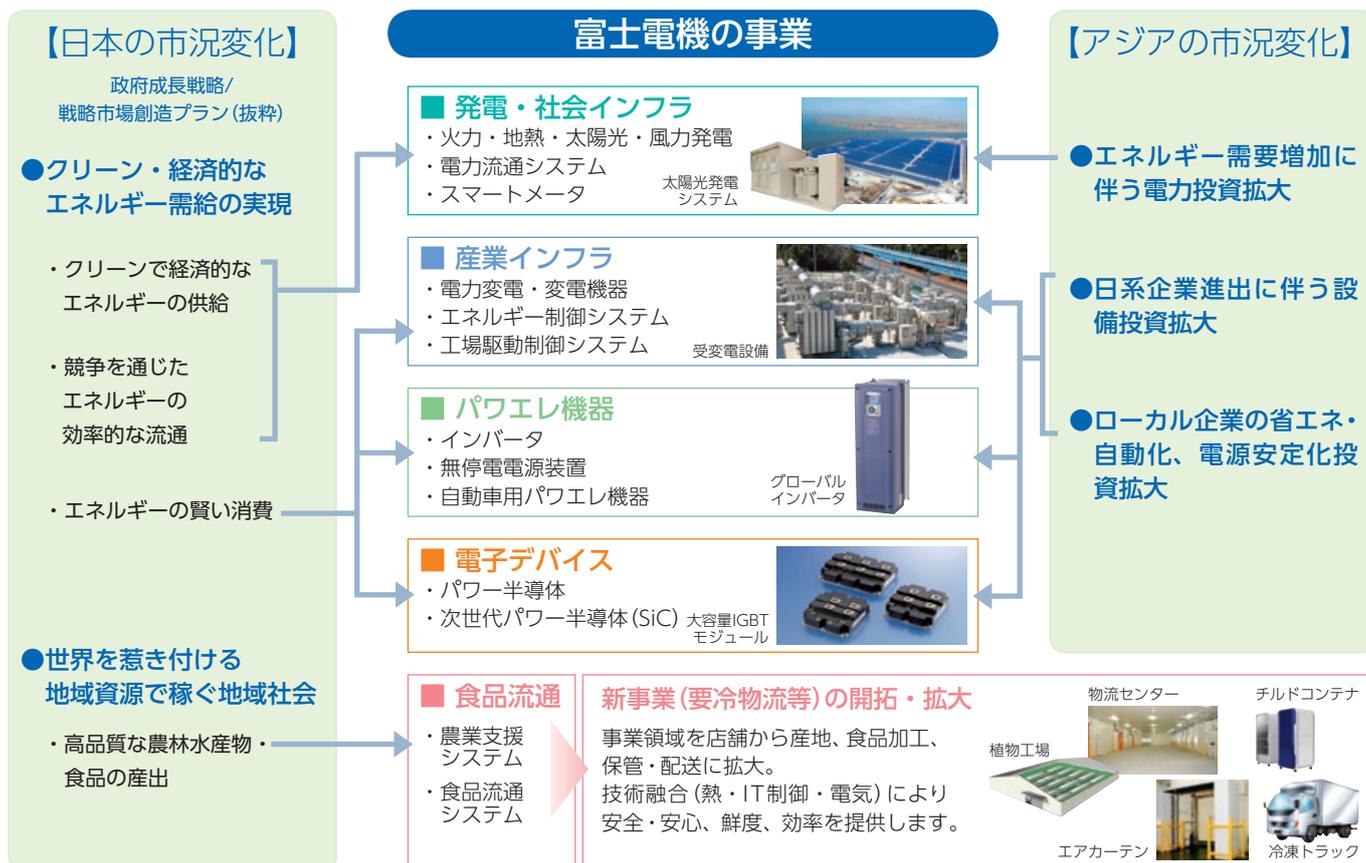
売上高(国内外別)



海外売上高(地域別)



▶ 取り巻く市況変化と富士電機の事業との関係



第137回定時株主総会を開催



6月25日、第137回定時株主総会を開催しました。当日は472名のご出席を賜り、ご質問やご意見をいただきました。

決議事項につきましては、会社原案のとおりご承認いただきました。

- ▶開催日時：2013年6月25日(火) AM10:00~11:30
- ▶開催場所：ウェスティンホテル東京
- ▶出席株主数：472名

決議結果

第1号議案 取締役10名選任の件

第2号議案 監査役1名選任の件

第3号議案 取締役の報酬額改定の件

上記の件、多数の賛成をもってご承認いただきました。

※当社ウェブサイト(株主・投資家情報の「株主総会」)において、候補者別の賛成比率を開示しております。

(<http://www.fujielectric.co.jp/about/ir/index17.html>)



取締役・監査役

株主様のご承認に基づき、次の役員体制をスタートさせました。

代表取締役社長	北澤 通宏	取締役	安部 道雄	常勤監査役	篠崎 俊夫
代表取締役	奥野 嘉夫	取締役	濱田 隆道	常勤監査役	石原 敏彦 (新任)
代表取締役	重兼 壽夫	取締役	米山 直人	社外監査役	伊藤 隆彦
社外取締役	黒川 博昭	取締役	松本 淳一 (新任)	社外監査役	佐藤 美樹
社外取締役	鈴木 基之			社外監査役	木村 明子
社外取締役	佐子 希人 (新任)				

お知らせ

タイ変圧器メーカーへ出資

アジア地域ではインフラ投資が拡大するとともに、日系を含む海外企業の進出が加速しています。富士電機では、アジア地域を注力市場と位置付けており、現地設計および地産・地消による「現地完結型」の体制を構築し、社会・産業インフラ需要を取り込むことで、売上拡大を目指しています。

こうした取り組みの中、当社では、「Tusco Trafo社グループ(以下、TUSCO社)」への資本参加を行うこととしました。TUSCO社は、タイの政府系配電公社や民間企業に対して数多くの納入実績があり、東南アジアやアフリカに広く販売実績を持つ、タイの有力変圧器メーカーです。同社のリソースを活用することにより、製品ラインアップの拡充、販売・サービス網の拡大を図り、アジア事業の強化を推進していきます。

新会社の概要

- ・新社名：Fuji Tusco Co.,Ltd.
- ・事業内容：変圧器・配電盤などの製造・販売・保守サービス
- ・出資時期：2013年10月(予定)
- ・出資比率：67.7%



変圧器

本報告書の将来についての計画や戦略、業績見通しに関する記載は、作成時点において当社が合理的と判断した一定の前提に基づくものであり、実際の結果とは実質的に異なる可能性があります。当社はこれらの記載のうち、いかなる内容についても確実性を保証するものではありません。

富士電機株式会社 〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番2号(ゲートシティ大崎イーストタワー) 電話 03-5435-7111 <http://www.fujielectric.co.jp>